

第 33 回地域連携手帳委員会（略称：手帳委員会）

日時 平成 29 年 8 月 17 日(木) 13 時 30 分～

1. 連携手帳の現状と問題点

- ・ CM連絡部会（秋葉区 90 名程在籍）より
「むすびあい手帳」についてのアンケート実施
結果として、約半数の CM がむすびあい手帳の運用方法についてわからないとの回答であった。
CM に向けて、9/14 秋葉区役所 真柄保健師より研修会を予定している。
- ・ コミュニケーション欄の活用
記載に対しての返事、チェック欄の活用がされておらず、相手が確認しているのか不明である。7/29 に開催されたワールドカフェでも同様の意見が出ており、意思統一が図られていないのが現状である。

2. 連携手帳の発展的利用

- ・ むすびあい手帳に移行してから、認知症欄の活用について
地域連携手帳にむすびあい手帳内容を差し込んでおらず、認知症欄の活用ができていないとの意見あり。
- ・ 事業所独自の手帳がある場合、むすびあい手帳との 2 冊利用となるケースもあり
記入、確認に手間もかかり把握にも時間を要する。
- ・ 事業所独自の用紙をむすびあい手帳に挟んでいるケースについて
枚数が増加し、ページの整理が必要な場合がある。ページの整理について取り決めは必要かどうか。次回会議にて検討となる。

3. 新潟市在宅医療 IT 連携事業への参加

- ・ 7/15 スワンネットより情報交換会開催（ユニゾンプラザ）
実際の使用方法について説明あり。
新潟市では IT の利用が進んでいないのが現状である。
地域のなかで活用方法の取決めが必要である。

4. 「ワールドカフェ in 秋葉 2017」からの報告

平成 29 年 7 月 29 日（土）午後 2 時～4 時 30 分 開催

新津地域交流センター 多目的ホール（3 階）

内容：テーマ「連携力を強めるために、各職種の果たすべき役割を考えよう」

～認知症ケアにおける好事例の情報交換を有効にして～

アンケート集計結果 別紙

5. その他

配布チラシ2枚

- ・新潟市地域医療市民向けシンポジウム

「もしもの時の備えを学び、憂いを無くそう！！

～地域包括ケアシステム構築のために～

日時：平成29年9月7日（木）14：00～16：00

会場：新潟テルサ 大ホール

定員：500名（参加無料）

- ・新潟市秋葉区在宅医療・介護の区民公開講座

認知症になっても慣れた地域で暮らし続けるために「認知症とその予防」

講師：総合リハビリテーションセンター

みどり病院 病院長

認知症疾患医療センター センター長

成瀬 聡 氏

日時：10月14日（土）14時～15時30分 13時30分から開場

会場：新津健康センター 3階 第1,2会議室

定員：先着80人（予約制）

次回手帳委員会

平成29年 10月19日（木）午後1時30分から

新津医療センター病院大会議室